

目標達成計画

作成日:令和 3 年 6 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	外部との接触を避ける中で地域の方々との交流が途絶えない工夫	近隣の方との交流を増やせるように心がける	コロナ禍の中で外部者との接触が難しい時期であるが、感染症が緩和されれば従来のマルシェや地域住民との交流の場を再開したいと思っている	6ヶ月
2	6	入居歴の長さや職員の変動があまりない為、なれ合いになることも予想される	声掛けやケアの中で、常にケア人としての自覚を持ち従事する	強い言葉が聞かれたときには、スタッフ同士が声を掛け合ったり、交代を行い対応する。朝礼時の身体拘束の読み合わせの中で毎日確認し、利用者様となれ合いにならないよう常に注意する。	1ヶ月
3		コロナ禍での運営推進会議や家族への情報が難しい状況にある為、どのように緩和すればよいか	家族と利用者様の接点が持てるようにする	今後も「郷新聞」え利用者様の状況等を発信する。家族様が支払い等で来所された際には、窓越しでの会話を心がける。要望等にも耳を傾け対応する。	6ヶ月
4		災害対策、コロナ収束後の地域住民や家族との訓練が再び実現するには、どのように取り組むべきか	近隣の方々や家族の方に参加していただき実施する	年2回の消防訓練を今後も実施していく。コロナ収束後は、以前のように近隣の方々や家族の協力を得た訓練が実現できるよう取り組みを行う	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。